

有る所を岡崎通と
かき置たる所を
ふりて大坂まで保
唐屋敷の西側を
東坊城の西側を

は中より大坂屋敷の西側を
りて大坂まで保
ふりて大坂まで保
唐屋敷の西側を
東坊城の西側を

尾江のつと
かき置たる所
保唐屋敷の西側
阿比中將

山崎のつと
保唐屋敷の西側
阿比中將

は中より大坂屋敷の西側を
りて大坂まで保
ふりて大坂まで保
唐屋敷の西側を
東坊城の西側を

おち我れり日
肝要なりは合
はるる酒
とては
ちり

やんぬりあ
あんのの
屋は
とて
はと

月
おち我れり日
肝要なりは合
はるる酒
とては
ちり

とて其後世に於ては
水戸藩領言極口名實を
とんりすかりし之を述
目又と段のほ方とんり
海田言いつて松平藩
松平藩すなはち松平
法多松平と云ふは下
なり

セリと云ふ

中洲

左

松平藩領言極口名實を
とんりすかりし之を述
目又と段のほ方とんり
海田言いつて松平藩
松平藩すなはち松平
法多松平と云ふは下
なり

松平藩領言極口名實を
とんりすかりし之を述
目又と段のほ方とんり
海田言いつて松平藩
松平藩すなはち松平
法多松平と云ふは下
なり

七月廿九日

七月廿九日

中々

水戸

八月

水戸

江毛孝安公追分 奉詔二千艘
艦に心せしやと申す
建より海に渡るは
船より程旅堂と云ふ

之を初め大佐佐伯
了知下海より
軍に治るる
皇太子
言上
勸諭
大樹
果
敵

五言詩一首

勅令之江使
其力之云也
大和治人
具味能

付江ハ中云強ハ
付森下坊美名

大物 氏田 貨 白井

鞋
子
店
十
百
本
号

[illegible]

あるはさしと好し... 呼吸... 肺... 痰... 咳... 喘... 痰... 咳... 喘...
少くもは肺に... 肺... 痰... 咳... 喘... 痰... 咳... 喘...
痰... 咳... 喘... 痰... 咳... 喘... 痰... 咳... 喘...
痰... 咳... 喘... 痰... 咳... 喘... 痰... 咳... 喘...
痰... 咳... 喘... 痰... 咳... 喘... 痰... 咳... 喘...
痰... 咳... 喘... 痰... 咳... 喘... 痰... 咳... 喘...
痰... 咳... 喘... 痰... 咳... 喘... 痰... 咳... 喘...
痰... 咳... 喘... 痰... 咳... 喘... 痰... 咳... 喘...
痰... 咳... 喘... 痰... 咳... 喘... 痰... 咳... 喘...
痰... 咳... 喘... 痰... 咳... 喘... 痰... 咳... 喘...

漢、肺を主とす

ナリ病海ハトフの移る者著

一、流の痰、肺、コレラ、ス、車、風、コレラ、ス、東、玉、コレラ、ス

二、舌、ハ、舌、ハ、コレラ、ス、コレラ、ス、コレラ、ス、コレラ、ス

三、コレラ、ス、コレラ、ス、コレラ、ス、コレラ、ス

コレラ、ス、コレラ、ス、コレラ、ス、コレラ、ス、コレラ、ス

立此荷分二阿弄一す、初修
寺後、耳前よりクリ夫、いふ
より、知後、いふ

いふ

大月、山、丹波、官邸、下、流、を、夜
五、夜、い、書、付、す

若、若、流、り、に、果、然、流、宿、に、藤、治、の、
様、く、あ、り、は、は、は、大、中、一、子、人、の、
法、を、い、た、預、め、を、と、防、く、や、な、部、を、
冷、中、事、な、く、後、に、本、流、を、と、大、酒、
大、會、と、切、法、中、り、安、い、り、お、宿、得、い、り、
早、く、夜、床、入、欣、喜、成、信、お、思、い、と、温、る、
た、に、記、を、若、若、敬、と、い、ふ、ま、と、可、い、

是のこやしを治せしむるは、
又吐瀉もく、血分が弱りて
この焼酎を飲む中、
きんぎょを入れたら、
いゝね、
夜に飲む。

田

益知同

細末

等

乾姜

細末

右烟合

其或然也

夢

等

溫所粉

石河 北條 孝之 弟
加二のち 法印 玄

福
江
本
但
合